

第 25 回北東アジア地域研究会・国立民族学博物館拠点（月例会）報告

平成 30 年 11 月 16 日に、国立民族学博物館館内において、第 25 回月例会「北東アジア地域研究会・民博拠点」が開催されました。今回は Gulnara Abikeyeva さん（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター外国人研究員, Academic Professor of Design Faculty, Kazakh Leading Academy of Architecture and Design）により、Reality and Myths Presented in Modern Kazakh Cinema と題して発表していただきました。発表では、カザフスタンの映画監督 Serik Aprimov 氏の作品を中心に、カザフスタン映画の紹介と、そこに見られる人間関係や社会的な意味へ踏み込んだ分析が提示されました。討論では、映画内の登場人物に関する解釈や国家や伝統、宗教などの表象の仕方のみならず、近年の映画会社や政府の援助の事情などにも話が及びました。北東アジア構成員 2 人、館内研究者 2 名、総研大学院生 2 名、外部 4 名の合計 10 名が出席しました。

また、月例会に先立ち、映画上映会も開催し、Serik Aprimov 監督の"Bauyr (Little Brother)"を上映いたしました。こちらは北東アジア構成員 2 人、館内研究者 1 人、総研大学院生 3 人、外部 2 名が参加いたしました。

